

尼崎市の防災対策に係る主な取組状況について

(令和4年10月から令和5年9月末まで)

1. 新型コロナウイルス感染症対策に関する取組

1-1：これまでの取組と感染症法5類移行後の取組

市長を本部長とする尼崎市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、国・県との連絡調整を担い、対策本部会議を適宜運営するとともに、本市の取組状況について、随時、改訂を行い、多層的な情報伝達手段を活用して周知したほか、街頭での啓発活動を行うなど全庁的に感染症対策を推進してきました。

令和5年5月8日から感染症法上「5類感染症」へ移行した後は、国や県が示す感染対策に係る方針に留意しながら、関係部局との連携を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症対策本部の廃止に伴い、平穩時については、国・県の動向に留意し、必要に応じ、政策推進会議において情報共有を図るとともに、市民等へ感染状況や感染対策などの情報発信を行っております。

1-2：新型コロナウイルス感染症の対応から今後の新たな感染症への備え

新型コロナウイルス感染症対応について、派遣職員の活用範囲の拡大や陽性者へのSMS（ショートメッセージサービス）による情報伝達、陽性者情報のデータベース化を図るなど、業務を効果的・効率的に進めることで医療専門職が陽性患者への対応により注力する環境を整備し、市医師会等とも連携しながら適時適切に医療を必要とする方への支援を実施してきました。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上「5類感染症」に移行した後も、県の移行計画に基づき市医師会等と引き続き連携を密に図りながら医療提供体制を整備し、コロナ対応に努めてまいりました。

また、次の健康危機に備え、病床や外来医療の確保など感染症対策の総合的な推進を図るため、平時に定める予防計画を関係機関とともに策定し、感染症対策の向上を図っていきます。

2. 災害対応力の向上に関する取組

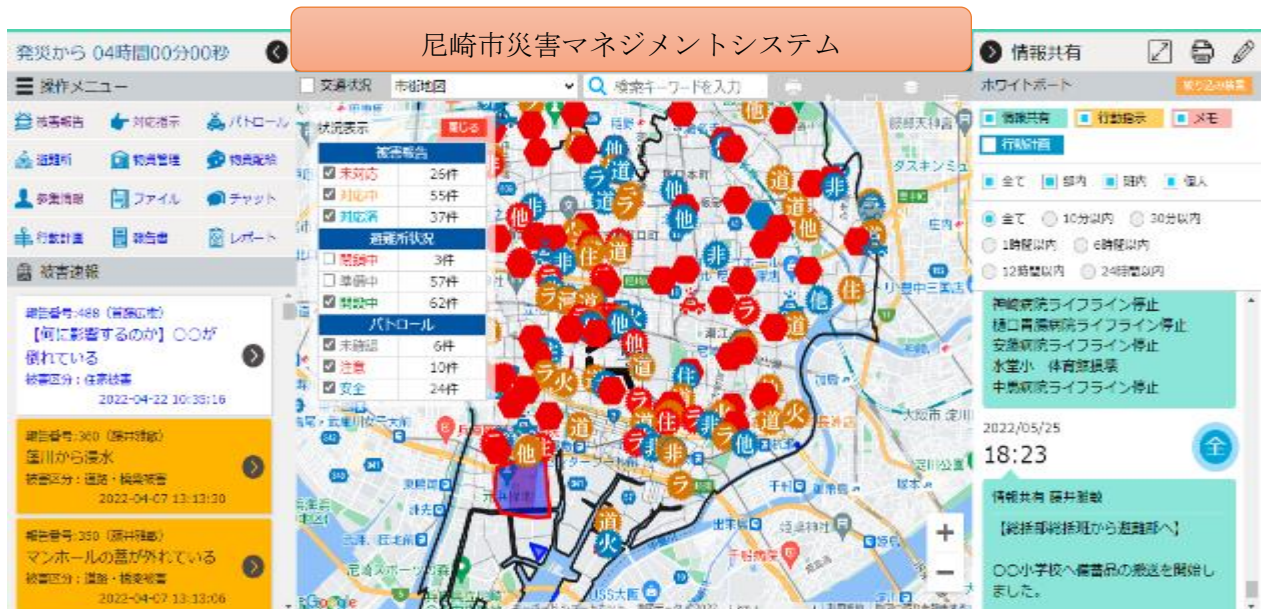
2-1：ペット避難に係る取組

大規模災害時にはペットと共に避難されることが想定されます。ペットの避難スペースについては、原則、屋外としていますが、状況によっては屋外への避難スペースの設置が好ましくない場合もあることから、可能な限り屋根のある場所の確保に努め、指定避難場所84箇所のうち、過半数において屋根のある場所を確保し、ペット避難スペースの情報については、市ホームページで公表しています。

2-2：尼崎市災害マネジメントシステムの活用

災害時における市の情報処理能力の更なる向上や市内の情報を一元化し共有することを目的として、令和3年7月1日に運用を開始した「災害マネジメントシステム」を災害対応に活用しています。

本格稼働以降の災害での運用実績としましては、令和3年度は10件、令和4年度は10件、令和5年度（令和5年9月末時点）は4件の災害事象の登録をシステム上、行っております。



2-3：「1.17は忘れない」地域防災訓練の実施

令和5年1月17日に中央中学校をメイン会場とし、「1.17は忘れない」地域防災訓練を実施しました。当訓練では、新型コロナウイルス自宅療養者の受入態勢等を反映した避難所運営マニュアル改定（案）を基に、関係部局や共助の担い手として期待できる中学生が初めて参加し、避難者のトリアージ、要配慮者からの聞き取り訓練やパッククッキングの実演、災害マネジメントシステムと他の防災に関するシステムとの連携訓練など、実践的な避難所開設・運営訓練を実施しました。

2-4：避難所運営マニュアルの改正と策定

令和5年5月8日に新型コロナウイルスが感染症法上「5類感染症」へ移行したことに伴い、令和5年6月21日に、これまでの「新型コロナウイルス感染症に対応した尼崎市避難所運営マニュアル」の改正を行い、平穏時において、安定的かつ感染症対策を講じた避難所運営を行うために、『尼崎市避難所運営マニュアル』としました。

また、今後、感染症法上2類感染症のような新たな感染症が発生した場合や感染症流行期に速やかに、必要な感染対策を講じた避難所運営が行えるよう、『新型インフルエンザ等に対応した尼崎市避難所運営マニュアル』として策定し、新たな感染症等に備えております。

2-5：水防工法訓練の実施

出水期を迎えるにあたり、水害時に職員が迅速・的確に対応できるよう、公益社団法人全国防災協会から派遣の水防専門家指導のもと、令和5年5月17日（水）、同年6月4日（日）に、職員及び消防団の水防工法訓練を各日において実施しました。



2-6：左門橋防潮扉点検操作訓練の実施

令和5年7月1日（土）・2日（日）、洪水、高潮の発生に備えて、国土交通省近畿地方整備局、兵庫県等の関係機関とともに、国道2号線左門橋西詰に設置されている防潮扉の点検、開閉操作訓練を行いました。



2-7：尼崎市防災総合訓練の実施

令和5年8月25日（金）に令和5年度防災総合訓練を実施しました。今回はブラインド式の図上訓練とし、災害マネジメントシステムを中心に、防災情報伝達システムやその他、防災に関連するシステムとの連携を図りながら、災害対策本部及び市内各局における更なる情報処理能力の向上と関係機関との連絡体制の確認などを目的に実施しました。

2-8：庄下川河川改修の実施

庄下川は市内中心部を流れる約7.3kmの県管理の1級河川であり、特に上流部（庄下川、富松川、西富松排水路の合流点以北）については、市街化の進展により遊水・保水機能の低下をきたしているほか、狭小な河川断面による洪水時の護岸崩壊、溢水等が懸念される箇所として、平成14年度から河川改修工事を実施しています。

令和4年度からは、東富松橋から伊丹市境までの残る約300mの区間について、新たに河川改修工事の着手を行い、令和7年度の完成を目指し、現在、河川改修工事を進めています。

【工事概要】

施行箇所：尼崎市塚口町6丁目・富松町3丁目及び富松町4丁目の各一部

施行延長：318.6m

事業期間：令和4年度～令和7年度（予定）

工事内容：護岸改修、河床掘削（1.3m掘り下げ）

目標流量：50m³/s（確率規模：10年確率）



2-9：抽水場の整備改修

抽水場は、主に公共下水道処理区域外に設置された排水施設で、自然な高低差による水の流れでは排水できない水路等の水を、ポンプにより強制的に公共用水域に排水する役割を担っており、浸水を防除するために不可欠な施設です。

市南部の大浜町にある又兵衛抽水場は昭和21年に整備後、昭和45年に改築され、その後、50年以上が経過していることから、老朽化に伴う建替えによる整備改修工事を令和2年度から行っており、令和4年度は、仮設設備工事等を実施しました。

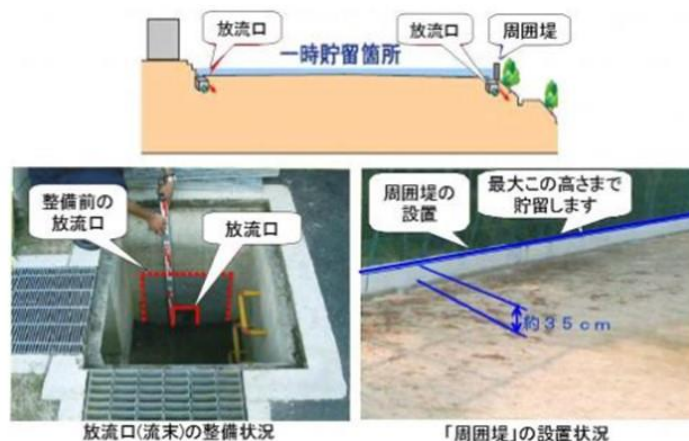
特に本抽水場は、すぐ近くにある尼崎宝塚線の道路排水や関西電力の変電所等があり、周辺企業の活動や市民生活に大きな影響があることから、浸水による被害防止を目的に令和7年度の完成を目指し、引き続き整備改修工事を進めていきます。



2-10：総合治水に係る校庭貯留

近年、台風等による大雨や集中豪雨、局地的大雨が増え、河川や下水道の整備といったこれまでの対策だけで被害を防ぐことが困難となってきている中で、河川下水道対策に加え、雨水を貯留、浸透させて流出を抑える流域対策、減災対策を組み合わせた総合治水対策に取り組んでいます。

令和4年度は、雨水貯留による流域対策として、グラウンドに降った雨を一時的に表面貯留し、武庫川への雨水の流入を抑制するための整備工事を尼崎市立常陽中学校において実施しました。



<整備概要のイメージ>

2-11：防災協力農地登録制度

甚大な災害発生時に、市内の農地を緊急防災空地としての一時避難や負傷者の応急処置などの場所として市民の安全・安心を守るために使用する、「防災協力農地登録制度」を令和4年4月8日から開始しています。制度開始後、令和5年9月末現在で、市内82箇所、5.2ヘクタールの防災協力農地の登録があります。

2-1 2：分散備蓄の拡大と家庭や事業者への備蓄の啓発及びローリングストック

分散備蓄について、これまでの20箇所から各地区小学校1校への配備を進め、26箇所に拡大しました。また、家庭や事業者における備蓄について、本庁舎1階で防災グッズの展示、ポスターの掲示のほか、出前講座や市ホームページ、市報で周知啓発を行いました。

また、備蓄計画に基づき、備蓄品の更新を行うとともに、更新に伴い保存期限が迫ったアルファ化米、ビスケット、粉ミルクについては、尼崎市社会福祉協議会へ配布し、食品ロスを出さないよう有効活用（ローリングストック）を図りました。

2-1 3：応急給水拠点及びマンホールトイレの整備

既存の応急給水拠点である耐震性緊急貯水槽7箇所、浄水場3箇所に加えて、避難所となる小中学校等に令和5年9月末時点で応急給水栓49箇所を設置し、合計59箇所の応急給水拠点を整備しました。令和4年10月から令和5年9月末までの間に、整備済の小学校等で自主防災会などと応急給水訓練を18回実施しました。今後、令和8年度までに応急給水栓を20箇所設置し、合計79箇所の応急給水拠点の整備を行います。

また、災害時におけるトイレ機能を確保するために、避難所となる小学校にマンホールトイレを令和5年9月末時点で27箇所整備しました。令和4年10月から令和5年9月末までの間に小学校で自主防災会などとマンホールトイレの組立訓練を6回実施しました。今後、令和13年度末までにさらに小中学校等41箇所の整備を行い、合計で68箇所のマンホールトイレの整備を行います。



3. 情報伝達の充実に関する取組

3-1：防災情報伝達システムによる情報伝達

アナログ式戸別受信機及び防災ラジオに代わり、大雨、台風等に係る新たな情報伝達手段として、地域の共助の担い手である自主防災会や民生児童委員などへ令和4年6月1日に導入しました。

導入後、令和4年度末までに計65件、令和5年度は令和5年9月末日までに計56件情報発信を行いました。

引き続き、防災に係る情報発信等に活用してまいります。



専用アプリ

「ライフビジョン」



＜令和5年度における主な情報発信実績（令和5年9月30日時点）＞

発信日時	お知らせの種別	配信者	対象者	情報発信内容
2023/4/3 11:41	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	防災対策情報便(令和5年3月号)を発行しました
2023/4/19 16:45	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	「マイ避難カード」作成支援動画をアップしました
2023/5/7 23:00	防災行政無線	消防局情報指令課	全ユーザー	大雨洪水注意報が発表されました
2023/5/8 0:26	防災行政無線	消防局情報指令課	全ユーザー	大雨警報が発表されました
2023/5/8 3:07	防災行政無線	消防局情報指令課	全ユーザー	大雨警報解除 大雨洪水注意報へ切替
2023/5/8 7:25	防災行政無線	消防局情報指令課	全ユーザー	洪水注意報解除 大雨注意報継続中
2023/5/8 7:57	防災行政無線	消防局情報指令課	全ユーザー	大雨注意報は解除されました
2023/5/8 10:00	新型コロナウイルス関連情報	災害対策課	全ユーザー	【市民のみなさまへ】
2023/5/19 18:21	イベント情報	協働推進課	市内部組織、市議会	10万人わがまちクリーン運動の実施について
2023/6/1 17:30	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	「災害情報電話サービス」の番号が変わります
2023/6/1 18:12	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	大雨と台風第2号の動向に警戒してください
2023/6/2 5:36	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	気象情報(発表)
2023/6/2 14:34	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	大雨警報(解除)
2023/6/2 19:13	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	【尼崎市災害警戒本部の廃止】
2023/6/2 20:29	防災行政無線	消防局情報指令課	全ユーザー	洪水注意報は解除されました
2023/6/2 22:53	防災行政無線	消防局情報指令課	全ユーザー	大雨注意報は解除されました
2023/6/5 13:17	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	防災対策情報便(令和5年6月号)を発行しました
2023/6/14 10:00	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	【風水害や停電への備えを確認しましょう】
2023/6/30 16:00	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	「地震防災対策の現状調査に係る住民向けアンケート」の実施
2023/7/3 9:07	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	防災対策情報便(令和5年6月号)を発行しました
2023/7/11 14:19	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	【事前のお知らせ】訓練放送(国民保護に関する情報)について
2023/7/12 12:12	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	【Jアラートのテストを中止しました】
2023/7/19 19:41	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	令和5年度ひょうご防災リーダー講座の開催について
2023/8/1 10:00	訓練関係	災害対策課	全ユーザー	【令和5年度防災総合訓練の実施について】
2023/8/3 9:41	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	防災対策情報便(令和5年7月号)を発行しました
2023/8/4 10:31	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	台風への備えをしましょう
2023/8/4 15:50	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	【停電に備えて】
2023/8/10 11:29	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	台風への備えをしましょう
2023/8/10 16:00	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	【停電に備えて】
2023/8/14 12:27	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	自主避難所の開設について
2023/8/14 13:00	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	午後1時00分 尼崎市災害警戒本部を設置しました
2023/8/14 17:10	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	多様な避難について
2023/8/14 17:41	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	各公共機関の計画運休について
2023/8/14 22:16	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	気象警報
2023/8/15 3:17	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	気象警報
2023/8/15 3:36	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	【大雨警報が発表されました】
2023/8/15 7:09	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	不要不急の外出は控えてください。
2023/8/15 8:13	その他の情報	広報課	全ユーザー	【中島新橋(大高洲橋を含む)、末広大橋の通行止め】
2023/8/15 8:40	くらしの情報	尼崎市システム管理者	全ユーザー	台風7号の接近に伴うごみ収集について
2023/8/15 9:40	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	停電に備え今一度確認を
2023/8/15 16:04	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	中島新橋(大高洲橋を含む)、末広大橋の通行止めを解除しました
2023/8/15 16:57	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	尼崎市に大雨注意報が発令されました(警報から切替)
2023/8/15 19:01	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	尼崎市に発表中の気象警報がすべて解除されました
2023/8/16 6:20	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	【大雨・洪水注意報が解除されました】
2023/8/16 10:31	その他の情報	広報課	全ユーザー	【台風第7号により発生した飛来ごみ等の処理について】
2023/8/16 15:00	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	尼崎市災害警戒本部を廃止します
2023/8/18 17:00	くらしの情報	協働推進課	市内部組織、市議会議員、自主防災会 連協組織、自主防災会 単組組織、テスト配信用(タブレット) 0699~0699	尼崎市市民運動推進委員会からのお知らせ「わがまちを美しく！」
2023/8/22 10:56	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	【事前のお知らせ】訓練放送(国民保護に関する情報)について
2023/8/23 9:54	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	【延期のお知らせ】訓練放送(国民保護に関する情報)について
2023/8/24 10:00	訓練関係	災害対策課	全ユーザー	【令和5年度尼崎市防災総合訓練の事前のお知らせ】
2023/8/25 9:46	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	訓練 地震発生
2023/8/25 10:09	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	これは訓練です 津波注意報が発表されました
2023/8/31 13:00	訓練関係	災害対策課	全ユーザー	大阪880万人訓練・豊中市防災情報伝達訓練について
2023/9/1 17:23	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	防災対策情報便(令和5年8月号)を発行しました
2023/9/19 11:00	防災行政無線	防災行政無線	全ユーザー	【事前のお知らせ】訓練放送(国民保護に関する情報)について
2023/9/29 16:56	その他の情報	災害対策課	全ユーザー	防災対策情報便(令和5年9月号)を発行しました

3-2：災害情報電話サービスの更新

台風の接近や大雨などの際に、市から発信される気象情報や避難情報といった災害情報を電話で確認することができる「災害情報電話サービス」について令和5年6月末でこれまで利用していたサービスが使用できなくなったことから、更新を行い、更新に伴って電話番号が変更になりました。

災害情報電話サービスの新しい番号については、令和5年7月号の市報や市ホームページのほか、各種SNSや防災情報伝達システム、防災対策情報便にて周知を行いました。

また、新たな番号を掲載したステッカーとチラシを作成し、情報取得が困難な高齢者を中心に民生児童委員の見守り活動やケアマネジャーによる訪問介護等の機会を通じて配布してもらうとともに、社会福祉協議会本部及び各支部、地域包括支援センター並びに災害対策課の窓口にも設置しております。

これらの取組に加えて、視覚に障害をお持ちの方に対して、点字で作成した電話番号ステッカーとチラシを送付しています。



3-3:地域への情報伝達に係る地域振興センターとの連携

地域への情報伝達に関して、武庫地域振興センターと連携し、武庫地区の社会福祉協議会の加入率が低い地区の地域団体が構成される地域福祉会議に参加し、新たに4団体（保護司会、少年補導委員連絡会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連絡会）と関係を構築し、白地地区における情報伝達などの課題について意見交換を行いました。

その中で、掲示板を通じたポスター掲示や地域活動が行われていることが確認でき、これらの活動を通じた災害情報などの地域への情報伝達については、今後も関係団体と連携を図ってまいります。

4. 地域住民による防災活動の支援に関する取組

4-1：個別避難計画作成の推進と個別避難計画に基づく訓練の実施

令和4年度は市内5地区の自主防災会等の協力を得て、個別避難計画の試行的取組を進め、4名の計画作成し、4名の個別避難計画に基づく避難訓練を行いました。(令和4年度末時点：個別避難計画作成数14名。避難訓練実施数6名。)



この取組を通して当事者と地域住民、福祉専門職との関係性が育まれ、平時からの緊急連絡体制の構築や当事者を含めた避難訓練に若い世代が参加するなど、地域の防災力の向上につながりました。

また、自主防災会や福祉専門職団体、当事者団体等の避難支援等関係者で構成する災害時要援護者支援連絡会等で、市の限られた体制に応じた段階的な個別避難計画作成の考え方の意見交換を行い、避難支援等関係者の協力のもと取組を進めることとしました。

令和5年度は、本市の段階的な個別避難計画作成の考え方にに基づき、災害リスクの高い対象者への意向調査を実施するとともに、避難支援等関係者と連携して段階的に計画作成に取り組んでいます。

4-2：防災訓練等の活動支援と地域への情報伝達に係るモデル事業の実施

自助と共助による地域防災力の向上を目指し、自主防災会や事業所等の団体が主催する防災訓練や研修等の計画、立案、訓練時のサポート等の活動支援を行っています。令和4年度は、新たに、デジタル機器以外の情報伝達手段の充実を図るため、災害時に人の集まる応急給水拠点などへの掲示板の設置について、地域と連携し、モデル事業を2箇所の訓練（立花三反田自主防災会と蓬川・崇徳院自主防災会）、令和5年度は、9月末時点で1箇所（武庫第11自主防災会）実施しました。

また、各訓練において、多様な避難方法・マイ避難カード・家庭内備蓄についての周知啓発も行いました。

今後も引き続き、地域の訓練支援に取り組んでまいります。



4-3：地域防災リーダーの養成

兵庫県が実施する「ひょうご防災リーダー講座」に関して、地域防災に取り組む人材の育成と地域住民による主体的な防災活動の活性化を目的に尼崎市内在住又は在勤の受講者に対し、必要な経費の一部の補助（令和4年度補助実績：8件）を行うとともに研修会の実施や地域活動への参加促進の取組を行っています。

また、当該講座受講者への補助について、より多くの方に活用していただくため、市ホームページ等を活用し周知啓発に取り組んでいます。



4-4：「災害対応力を強化する女性の視点」をテーマにした防災リーダー研修の実施

令和5年3月12日、女性防災士を講師に招き、グループ討議による防災リーダー同士の交流や意見交換、行政との意見交換も行い、男女共同参画の視点の防災について理解を深めるとともに、地域防災力の向上及び防災リーダーの育成支援に取り組みました。

5. 地域課による防災に関する取組（主なもの）

5-1：「中央地区防災講座」の実施（中央地域課）

令和5年8月5日、「梅プラザ夏まつり」の開催と併せ、東難波社会福祉連絡協議会と共催し、「中央地区防災講座」を開催しました。

当日は中央地域課による防災講座の他、災害対策課及びお客様サービス課と連携し、「マイ避難カード作成」講座や、応急給水栓の設置体験を行い、地域の防災意識の向上に取り組みました。

中央地区
防災講座

2023年8月5日(土)

15:30~17:00

内容(予定)

- ① 防災講座
- ② マイ避難カードの作成
- ③ 応急給水栓の設置体験

参加無料

5-2：「外国人のための防災イベント Futsal Food Festival」の実施（小田地域課）

令和5年7月23日、地域発意をきっかけに、あまがさきキューズモールや県立尼崎小田高等学校の協力のもと、「外国人のための防災イベント Futsal Food Festival」と題し、防災クイズとフットサルや浴衣体験などのイベントを組み合わせ、外国人住民に防災に関する興味や知識を深めてもらうこと、地域住民との交流のきっかけとなるようなイベントを実施しました。

外国人のための防災イベント
Futsal Free Food Festival

15:00~17:00

会場は
あまがさきキューズモール 3F
レーンがのひろば

5-3：「大庄北生涯学習プラザ」を活用した防災訓練の実施（大庄地域課）

令和5年2月4日、大庄北生涯学習プラザの防災機能を理解するため、西消防署、東大島社会福祉連絡協議会、西大島社会福祉連絡協議会、指定管理者、公営企業局お客様サービス課や地域住民等と連携し、避難誘導訓練、応急給水訓練、かまどベンチを用いた炊き出し訓練等の防災訓練を実施しました。この訓練を通じ、災害時に必要となる「人」の連携や「資材」などについて、気づきがあり、発災時にはどのような対応が求められるかなど、訓練参加機関の防災意識の向上に寄与しました。



5-4：「関西学院大学生による防災体験 かまどベンチ de カレーづくり」(立花地域課)

令和5年7月26日、関西学院大学で社会学、ボランティア、災害復興などを研究されている関ゼミのメンバーで結成された「暖だん」の企画で、立花地域課が実施する夏休みイベント「たちばなのマナビバ」の一環として、地域の小学生を対象とし、「かまどベンチ de カレーづくり」を実施しました。

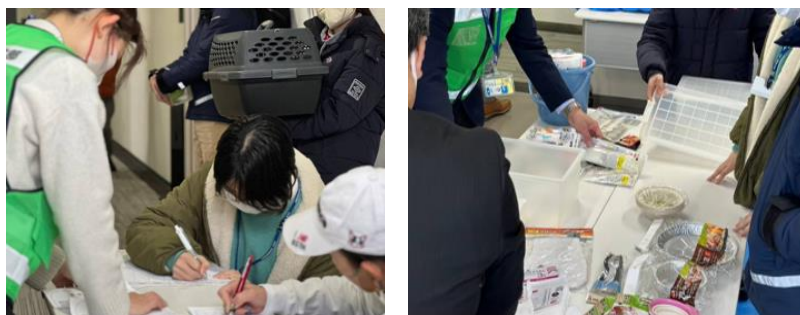
立花南生涯学習プラザの敷地内にある、かまどベンチを用いて、参加者がカレーを作り、みんなで食べました。楽しみながら、災害時の助け合いについて学ぶ機会となりました。



5-5：「ペット同行避難訓練」の実施(武庫地域課)

令和5年3月1日、ペットとともに指定避難所へ避難する「ペット同行避難」について、ペット同行避難者の受け入れを想定した避難所運営訓練を地域住民(自治会長)と一緒に実施しました。

この避難所運営訓練を通じ、ペット同行避難において想定される様々な課題への対応策を協議するなど、避難所運営能力の向上に努めました。



5-6：「上坂部地区地域防災訓練」の実施(園田地域課)

令和5年3月19日、大規模災害を想定し、園田地区消防団の誘導指示により、地区の一時避難場所「上坂部ひろば(上坂部交番前・旧バスロータリー)」までの集団避難訓練を行いました。避難場所では、避難場所設備及び消火器の操作説明、消防訓練、水消火器による消火体験を実施し、地域の防災意識の向上に努めました。



6. 防災意識の普及・啓発に関する取組

6-1：「マイ避難カード」のさらなる周知啓発、作成促進の取組

「マイ避難カード」とは、一人ひとりができる風水害への備えとして、「いつ（避難のタイミング）」、「どこへ（避難先）」、「どのように（避難する方法）」などを事前に考えておき、災害が差し迫った状況の中でも的確な避難行動がとれるように整理するためのカードです。

さらなる避難行動の促進のため、「マイ避難カード」について、市報や市ホームページ等を通じた周知の他、啓発チラシ等を活用し、市政出前講座や地域の防災訓練等、様々な機会を通じて説明を行い、作成をしていただくなど、令和4年度は、合計80回、延べ4,274名に、令和5年度は9月末時点で、合計44回、延べ1,575名に対し、周知啓発を行いました。

さらには、令和5年3月に「マイ避難カード」を8分で作成できる支援動画を作り、市公式YouTubeや災害対策課公式YouTubeで公開する取組を進めております。

今後につきましても、これまでの取組に加え、作成した支援動画を、市が実施するイベントや市政出前講座、市内事業者が実施する訓練など、あらゆる機会を捉えて活用しながら、さらなる避難行動の促進に繋がるよう、「マイ避難カード」の周知啓発及び防災意識の向上に取り組んでまいります。

<尼崎市公式YouTube「マイ避難カード」作成支援動画>

URL：<https://youtu.be/dAxYTYsl3Ss>

QRコード：



マイ避難カード			記入例
災害の種類	洪水	名前 尼崎 太郎	メモ
確認！	判断材料の入手 (自宅付近の何が危険？大雨や台風のときに何を確認する？) 避難情報 (テレビ・尼崎市防災ネットから) 指定河川洪水予報 (気象庁ホームページから)		●自宅が浸水想定区域 (1~2m) ●子どもの避難は時間がかかるので、警戒レベル4「避難指示」を待たずに避難！
3分！	逃げるとき (何がどうなったら逃げる？) 警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたとき 指定河川の洪水情報が発令されたとき (緊急速報メールから)		
5分！	避難先 (どこに？どのルートで？) 昼 (明るいとき) ●●小学校 夜 (暗いとき) 自宅の3階		
5分！	避難する方法 (誰と？歩いて？車で？) 昼 (明るいとき) 家族で歩いて避難 (河川沿いの道は通らない) 夜 (暗いとき) 家族全員自宅の3階へ待避		

6-2：「1.17は忘れない」防災パネル展

令和5年1月17日で阪神・淡路大震災から28年が経ち、震災の経験と教訓を次世代につなぐため、尼崎市本庁舎では、令和4年12月26日から令和5年1月26日までの間、震災を振り返るパネル展を行いました。



6-3：市政出前講座での防災に係る講義

地域団体や市内の企業等から依頼を受け、災害への備え、マイ避難カード、災害時取るべき避難行動、家庭内備蓄の啓発など、防災に関するテーマで市政出前講座を開催しています。令和4年度は、39件の出前講座を開催し、令和5年度は9月末までに22件の出前講座を開催しています。

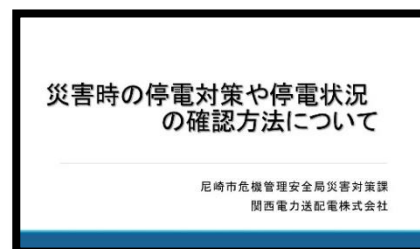
6-4：停電対策に係る啓発動画の公開

災害時の停電対策や停電状況の確認方法について、さらなる周知を行うため、関西電力送配電株式会社と連携し、啓発動画を作成しました。作成した啓発動画は尼崎市公式 YouTube に公開し、住民の停電対応に係る啓発及び防災意識の向上に取り組みました。

<尼崎市公式 YouTube 災害時の停電対策や停電状況の確認方法について>

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=i3chyei6XWc>

QRコード：



6-5：中小企業減災支援事業の実施

令和元年度より減災対策の啓発セミナーの実施や、専門家を派遣し、減災に係る課題解決を目指す「減災アドバイザー派遣事業」を通じて、市内中小事業者の減災意識向上及び事業継続の体制強化を促す取組を行っており、令和4年10月から令和5年9月末までの間に、1事業者に対して延べ2回、減災アドバイザーの派遣を実施しました。

また、BCP（Business Continuity Plan 事業継続計画）を策定しようとする中小事業者に対し、その費用の一部を補助する「中小企業BCP策定支援補助金」を令和4年度から実施しており、啓発及び実行両面において、減災に対する取組みを支援しています。（令和4年度補助金交付実績7件）

7. 災害時相互応援態勢の充実に係る取組

7-1：民間団体との協定等

① 公益財団法人尼崎緑化公園協会

令和5年4月1日、公益財団法人尼崎緑化公園協会と、「災害時等における応急対策業務に関する協定」を締結しました。道路、公園等における樹木の点検や被害状況の確認及び倒木樹等の処理を行うための連携・協力に関する基本的事項を定め、災害時における倒木樹等の早期解消を図ります。

② アマゾンジャパン合同会社

令和5年5月23日、アマゾンジャパン合同会社と、「Amazon Disaster Hub プロジェクトにおける災害時の物資の供給等に関する覚書」を締結しました。Amazon Disaster Hub プロジェクトに関連し、尼崎市が被災した際には、Disaster Relief Hub に保管されている支援物資をアマゾンから提供していただくことで、被災者支援の充実に図ります。

③ 市内4ライオンズクラブ及び尼崎市社会福祉協議会

令和5年6月12日、ライオンズクラブ国際協会335-A地区2R・1Zに属する市内4ライオンズクラブ及び尼崎市社会福祉協議会と尼崎市の三者で、「尼崎市災害ボランティアセンターの活動支援等に関する協定書」を締結しました。尼崎市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターの運営やボランティア活動に対し、ライオンズクラブが有する、車両、設備、資機材、人材等の支援を受けることで、被災者支援が円滑かつ効果的に実施できます。



以上